

平成25年度保育サービス 第三者評価の結果

市では、市内の保育所・幼稚園・認定こども園での保育サービスの質の向上と利用者の皆さんに対する情報提供のため、保育サービス評価を行っています。

保育サービス評価委員会による平成25年度の評価結果がまとまりましたので、公表します。

評価結果は、市役所3階こども育成グループ、各保育園・幼稚園・認定こども園、各児童センターの窓口、市公式ホームページで閲覧できます。



市では、カワラッキーフレンズを募集しています。詳細は問い合わせください。今後も、カワラッキーフレンズの取り組みを紹介していきます。

食育
応援!!

高浜市食育協力隊 カワラッキーフレンズの 取り組み紹介

食育の啓発や実践活動に協力していただける団体や事業者を高浜市食育協力隊カワラッキーフレンズ(登録制)といいます。今回紹介するカワラッキーフレンズは、「NPO法人だいきっず」です。

日本とケニアで同時に豆腐作り

2月6日に高取小学校とナイロビ日本人学校3・4年生で、豆腐作りをしました。

この日は、いつもの豆腐作りとはちょっと違う…そう!

2つの場所、日本とケニアで同時刻に開催し、インターネット回線でお互いに作っているところを感じながら、豆腐作りを体験しました。

大豆の話からはじまり、にがりの話を聞いて、実際に自分たちでにがり寄せをしました。温めた豆乳のにがりを打つと、みんな初めての体験で固まるのか心配そうな表情で見つめていましたが、10分ほどして表面が固まりだすと、ひと安心のようでした。寄せている間は、豆腐の話を聞いたり、ナイロビ日本人学校のみんなとお互いに質問をしようなど、交流をしました。

この記事の内容に関する問合せ先

NPO法人だいきっず ☎050-3786-2535

高浜市教育基本構想の実現に向けて⑧

～高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成～ 「幼・保、小、中一貫教育の推進」

Q 「異校種間連携推進事業」では、どんなことをしているの?

A 教育基本構想推進の柱となる「幼・保、小、中一貫教育」を推進するために立ち上げられた「異校種間連携推進委員会」が主導となって推進している事業のひとつです。

幼稚園・保育園から中学校までの12年間の「縦のつながり」を密にする「異校種間連携事業」では、「園や学校間を越えた教職員の交流」や「子ども同士の異学年交流」に取り組んでいます。

「教職員の交流」では、子ども理解のための「情報交換会」、年長担任と小1担任、小6担任と中1担任がお互いの授業を見学しあう「異校種参観」などを実施しています。

「子どもの交流」では、幼・保と小学校間における「園

児と児童間の交流」として「運動会の参加」「学芸会への招待」「生活科授業で計画

した秋祭りへの招待」などを実施しています。なかには「給食交流会」を行っている学校もあります。

小・中学校間における「児童と生徒間の交流」としては、「部活動見学会」「入学説明会における学校紹介や授業見学」などが行われています。

これらの交流は、年長児にとっては、入学の不安の軽減や心構えにつながり、小学1年生にとっては、先輩としての自覚をもちたり、自己の存在を認められたり他者から必要とされたりする気持ちを高められる貴重な機会になっています。小中学校においても同様です。

次号からは、昨年度実施された各園・各校の取り組みを紹介します。



問合せ先 園教育センターグループ ☎52-1111(内線311)